

令和4年度事業計画

1) 文化財屋根葺土養成研修事業 (国庫補助事業)

第24期生 後期の研修開始

人数●3名
期間●令和4年5月～9月予定
研修区分●実習696時間
講義場所●京都研修センター(京都市東山区)
実習場所●岐阜・滋賀方面等

2) 檜皮採取者(原皮師)養成研修事業 (国庫補助事業)

1) 中級研修生(原皮師)研修開始

人数●11名
期間●令和4年8月22日(月)～令和5年1月27日(金)予定
研修区分●実習1216時間(内査定会16時間)
歩道整備40時間
実習場所●国有林/[中部森林管理局管内]
賤母(長野)
[近畿中国森林管理局管内]
仏通寺(広島)、城山(山口)、
西通山(兵庫)
市有林/[秩父市]旧大滝村栃本(埼玉)
民有林/吉備中央町個人山(岡山)、羽賀寺(福井)

2) 採取中級会議

参加者●14名
期日●令和4年6月予定
会場●京都研修センター(京都市東山区)

3) 森林管理署等の挨拶・打合せ

人数●3名
期間●令和4年5月～8月予定
場所●中部森林管理局管内(長野)、近畿中国森林管理局管内(大阪・滋賀・山口・兵庫)、秩父市旧大滝村栃本(埼玉)

4) 檜山の調査

調査員●20名
期間●令和4年5月～8月予定
調査場所●中部森林管理局管内、近畿中国森林管理局管内、稲荷神社、吉川八幡宮、高塚古墳、吉備中央町個人山(岡山)

5) 研修生(原皮師)採取技術査定会

参加者●11名
期日●令和4年10月予定
会場●仏通寺(広島)

3) 茅葺師養成研修事業(国庫補助事業)

1) 茅葺師養成研修(中級)

人数●6名予定
期間●令和4年6月～11月予定
研修区分●実習240時間
実習場所●山南町研修センター・中国地方方面

2) 茅刈り研修

人数●3名予定
期日●令和5年1月予定
研修区分●実習48時間
実習場所●大室山(静岡県伊東市)

3) 茅部会

参加者●12名
期日●未定
研修場所●京都研修センター(京都市東山区)
内容●「主任文化財屋根葺土」検定会及び茅葺に関する問題点等

4) 研修場所の調査視察

人数●3名
期間●令和4年5月～8月予定
調査場所●中国地方方面

5) 茅収納庫入荷の茅調査視察(自主事業)

調査員●3名
期間●令和4年6月～7月予定
調査場所●大内宿(福島県南会津郡)

4) 屋根板製作者養成研修事業 (国庫補助事業)

人数●3名
期間●令和4年10月頃予定
研修区分●実習96時間
実習場所●島根方面

5 「主任文化財屋根葺士」

(京都市助成金)

1) 第13回「茅」(※茅葺のみの実施)

人数●1名予定

期間●令和4年10月予定

研修場所●山南研修センター(兵庫県丹波市)

事業内容●檜皮・柿葺士または茅葺師として10年以上従事し、今後とも活動する意志があると認められる葺士を対象として、年1回屋根葺の高度な技術及び知識を修得しているか否かを実技、座学で評価する。合格者には認定書を発行する。

2) 主任文化財屋根葺士 認定証更新講習会

参加者●19名

期 日●令和4年11月予定

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

事業内容●認定証の更新講習会

6 研修会

1) 指導者研修会

参加者●30名

日 時●未定

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

内 容●未定

2) 文化財研修会

参加者●約100名

期 日●令和4年予定

会 場●未定

内 容●現場見学や文化財講演会を通じ、古来より先人達が築いてきた心と技を学ぶ。

7 普及啓発事業

1) 特別講座

参加者●各50名程度

期 間●令和4年6月～令和5年2月
計2回予定

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

内 容●一般の方々を対象に日本の伝統文化のみならず様々な分野から講師を招き、人数制限を行ったうえ講演会を開催する。

2) 日本の技 体験フェア(文化庁主催)

人 数●8名(保存会関係者)

期 日●未定

会 場●未定

3) ふるさと文化財の森システム推進事業

森が支える日本の技 2022 公開セミナー

期 間●令和4年9月～11月予定

会 場●京都研修センター(京都市東山区)他

8 文化財修理用屋根葺資材の確保事業

檜皮資材確保及び茅資材確保

優良な檜皮資材及び茅材の生産と確保の為、檜皮山管理及び茅場管理。

9 檜皮採取の契約及び買受申込 (国庫補助事業)

国有林●[中部森林管理局管内] 賤母(長野)、[近畿中国森林管理局管内] 城山(山口)、仏通寺(広島)、西通山(兵庫)

市有林●[秩父市] 旧大滝村栃本(埼玉)

民有林●岡山地方、羽賀寺(福井)

10 賃貸事業

市民の文化の向上及び発展に資するため、文化財建造物その他の文化財を保存するための技術の継承を図るための事業を実施する法人等に施設を貸与する。

京都市文化財建造物保存技術研修センター

期 間●令和4年4月～令和5年3月

貸 与 先●京都市、(一財)全国伝統建具技術保存会、(一社)社寺建造物美術保存技術協会、及び各種選定保存技術保存団体等

11 会報等の発行

保存会に必要な事業実施の報告等を内容とした会報「古文化」を年2回、準会員の「手練」を年1回編集発行。

[古文化] 第128号/令和4年7月31日発行予定

第129号/令和5年1月31日発行予定

[手 練] 第17号/令和4年7月31日掲載(HPのみ)

[国庫補助事業報告書]/令和5年3月31日

12 其他法人の目的を達成するために必要な
事業

- 1) ふるさと文化財の森システム推進事業専門
委員会
「ふるさと文化財の森設定について等」
期 日 ●令和4年予定
- 2) 「伝統建築工匠の技」の保存、活用及び発展
を推進する会 全体会議
期 日 ●令和4年予定
- 3) 文化財修理技術保存連盟
令和4年度 通常総会
期 日 ●令和4年予定
- 4) 全国文化財保存技術連合会 総会
期 日 ●令和4年予定
- 5) 公益社団法人 全国国宝重要文化財所有者連盟
連絡協議会
期 日 ●令和5年3月予定